

令和7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：商業・サービス産業支援課

担当名：総務・サービス産業担当

内線：3753

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P2	触れて、学んで、つながるDX導入促進事業	一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	サービス産業支援事業費
事業期間	令和7年度～ 令和8年度	根拠 法令	なし	針路 分野施策	11 1102	稼げる力の向上 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援 SDGsゴール SDGsターゲット 8-1, 8-4, 8-5, 8-6

1 事業概要

県内の中小・小規模事業者に対して、DXツールを実験できる展示会を実施し、展示会後には県の支援メニューや補助金の活用を促すことで、事業者のDXの取組を後押しし、生産性向上を図る。

触れて、学んで、つながるDX導入促進事業

66,950千円

2 事業主体及び負担区分

【内閣府】

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
(国10/10・県0)

3 地方財政措置の状況

なし

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1.0人=9,500千円

5 事業説明

(1) 事業内容

DXの導入を支援する展示会を開催する。参加事業者の掘り起こしについては商工団体に配置する経営サポートや金融機関が行う。展示会後は導入に向けた支援を経営指導員等が行い、県の補助金の活用を促し、事業者のDXの取組を更に後押しする。

また、DX推進により生産性向上につながった好事例をDX推進支援ネットワークを活用し、事業者へ横展開を図る。

(2) 事業計画

ア 体験型展示会の実施

(ア) 概要：中小・小規模事業者に向けDXツールの紹介・体験を行う展示会を金融機関と共に実施
(イ) 内容：県内5か所で開催

メーカー・ベンダーによるDXツールの展示、県の支援メニューと補助金活用を促すブースの設置、出展企業によるミニセミナーを行う。

(ウ) 出展企業：1回あたりの出展企業数 30社程度
汎用的なDXツールや業種別のDXツールを展示する

(エ) 来場者数：1,000者

(イ) 繰越明許費の設定を行う。

(3) 事業効果

県内中小企業のDXの取組を底上げし、生産性向上を図ることで稼ぐ力が向上し、地域経済への波及効果が期待できる。

【活動指標(アウトプット)】展示会来場者数 1,000者

【成果指標(アウトカム)】埼玉県四半期経営動向調査における事業者のDXに向けた取組状況 60.0%(令和8年度末)

予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
		国庫支出金						
決定額	66,950	66,950					0	66,950
現計額	0						0	

事業内訳書

事業名	触れて、学んで、つながるDX導入促進事業		
単位事業名	触れて、学んで、つながるDX導入促進事業	予算額	66,950千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・商工業費補助金	66,950	—	【内閣府】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金補助率 定額
合計	66,950	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	400	—	展示会等旅費
委託料	66,400	—	体験型展示会運営業務委託料
使用料及び賃借料	150	—	会議室使用料
合計	66,950	—	